

2018年10月24日

報道関係各位

公益財団法人 笹川スポーツ財団

## ラグビーワールドカップ 2019 まで 1 年。日本ラグビーのレジェンドを振り返る 笹川スポーツ財団 スペシャルサイト『スポーツ歴史の検証』

### 第 75 回 大東 和美 氏

(ラグビーからサッカーへ。競技の垣根を越えて活躍する、早大ラグビー部の黄金期を支えたラグーマン)

「スポーツ・フォー・エブリワン」を推進する笹川スポーツ財団(所在地:東京都港区赤坂 理事長:渡邊一利 以下:SSF)は、日本のスポーツの歴史を築かれてきた方々にお話を伺い、スポーツの価値や意義を検証、あるべきスポーツの未来について考えるスペシャルサイト「スポーツ歴史の検証」を連載しております。ラグビーワールドカップ 2019 を来年に控えた本年度は日本のラグビーを支えてきた人びとをテーマにお送りします。

今回ご登場いただいたのは、早稲田大学ラグビー部の主将として大学選手権、日本選手権で優勝を果たした大東和美氏。現役引退後は母校の早大ラグビー部の監督に就任し、大学選手権優勝に導きました。サッカーのJリーグ4代目チェアマンを務めるなど、競技の垣根を超えて活躍する大東氏に早大ラグビーの強さの理由や、プロチーム経営のコツ、ラグビーW杯2019への期待を伺いました。

インタビュアーには産経新聞特別記者兼論説委員の佐野慎輔氏をお迎えし、意義深いお話を引き出させていただきました。SSFウェブサイトでの公開詳細は以下のとおりです。ぜひともご覧ください。

## 『ラグビーとサッカーから学んだ「スポーツの力」』 大東 和美 氏

【公開日時】2018年10月24日(水)10:00 一斉公開

【URL】<http://www.ssf.or.jp/ssf/tabid/813/pdId/272/Default.aspx>

スポーツ歴史の検証 で検索ください!

【主な内容】大西時代から継承される強さの理由／「民主的なチーム」早大への憧れ／社会人で生きた“大人へのプロセス”／震災時に痛感した「スポーツの力」／スポーツの発展に不可欠な「ロマンとそろばん」 ほか



《プロフィール》

#### 大東 和美 (おおひがし かずみ) 氏

1948年生まれ。早稲田大学ラグビー部に入部。キャプテンとして率いた4年生時に大学選手権、日本選手権で優勝を飾る。プロサッカークラブ・鹿島アントラーズの社長を経て、Jリーグ4代目チェアマン、日本サッカー協会副会長に就任。現在は日本スポーツ振興センターの理事長を務める。

#### 佐野 慎輔 (さの しんすけ) 氏

1954年生まれ。産業経済新聞社特別記者兼論説委員、SSF理事。スポーツ記者を30年以上経験し、日本オリンピックアカデミー理事、野球殿堂競技者表彰委員を務める。

<スポーツ歴史の検証>概要

【企画制作】公益財団法人 笹川スポーツ財団

【後援】スポーツ庁、東京都、公益財団法人日本スポーツ協会、  
 公益財団法人日本オリンピック委員会ほか

【特別協力】株式会社アシックス

この件に関するお問合せ先  
 笹川スポーツ財団 経営企画グループ：古坂 (ふるさか)  
 TEL: 03-6229-5300 info@ssf.or.jp